

会議名	第3回学校運営協議会 議事録		
場 所	大阪府立すながわ高等支援学校4階 校長室		
日 時	令和6年1月30日（火） 10:00～12:00		
目 的	学校運営協議会は、保護者等との連携協力、学校運営の方針についての協議及び承認、保護者等の意向の反映のために設置する、大阪府教育庁の附属機関である。		
次 第	(1) 校長挨拶 (2) 協議 「令和5年度学校経営計画について（自己評価）」 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自今診断アンケート ・授業アンケート集計結果について ・1（2）府立学校における児童生徒 1人1台端末の活用促進にむけて ・2（1）道徳の授業について ・2（2）就労に関するアンケートについて 「令和6年度学校経営計画（案）について」 (3) 意見交換・まとめ (4) 校長挨拶		
学校運営協議会	会 長	四天王寺大学教育学部教育学科教授	土口 千恵子 様
	副会長	株式会社カネシン オートボックス	辻 昭宏 様
	委 員	泉州中障害者就業・生活支援センター	斉喜 祐輔 様
	委 員	株式会社サクセス 自立支援推進室長	河本 妙子 様
	委 員	泉南市 総合政策部 危機管理課	宮本 剛 様
	委 員	すながわ高等支援学校PTA会長	阿曾沼 友子 様
	校 長	すながわ高等支援学校校長	白井 公仁
		すながわ高等支援学校事務局	9名

会 議 内 容

要約 令和5年度学校経営計画の評価について事務局より報告があり、意見交換がなされた。今年度の本校の取組みについて総括をおこない、次年度の学校経営計画作成にむけて協議した。

協議テーマについてのご質問・ご意見

- 学校経営計画について（自己評価）では、校長より「ICT 機器等を活用した授業事例の蓄積、共有化について」「併設校との交流」「特別の教科道徳への取組み」「就労に関するアンケートの実施」「支援教育のセンター的機能の発揮」について報告を行った。「支援教育のセンター的機能の発揮」では、コロナ禍で中止されていた中学校訪問の再開や企業からの関心の高まりに伴い、例年 1 回の実施であった見学セミナーを今年度は 3 回実施したことなどの紹介もあった。
- 学校教育自己診断アンケートでは生徒からは 99%、保護者から 80%、教員から 100% の回答があったと報告。内容については 80%近い肯定的評価を得ることができた。自由記述の項目や、アンケートの匿名性についての在り方などについて活発な意見交換がなされた。
- 授業アンケート集計結果については、90%以上の肯定的な回答があった。生徒からは、中学校時代よりも先生の声が聞き取りやすいなどの意見がみられた。
- 府立学校における児童生徒 1 人 1 台端末の活用促進にむけての取組みでは、今年度はアクションプランステップ3の達成をめざし、生徒も教員もチェックリストを概ね達成できているという報告があった。委員の方からは、学校内では一定の制限がされた中で生徒たちは ICT を活用しているが、個人の ICT 機器はそのような制限もないため、学校から社会に出たときのギャップを心配するような意見もあった。
- 道徳の授業については、担当者より年間の取組み内容や、実際に使用している教材の紹介などの報告を行った。学習内容については、担任が授業に入ることで、その都度、振り返りを行えるように取り組んでいることの情報共有を行った。また関連教科と並行して継続して道徳教育を実施することにより生徒への定着を図ることの重要性を共有した。
- 就労に関するアンケートでは、今年度就労した卒業生の現状について報告があった。残念ながら離職した生徒もあり、本人の課題、企業としての課題など、意見交換を行った。委員の方からは、このアンケートを取って次につなげることは素晴らしい取組みであり、学校を良くしていこうと思いで取り組んでいると評価していただいた。
- 令和6年度学校経営計画（案）については、「共生推進教室の進路指導計画」「SSW だよりを作成、配付して取組みを発信する」「障害者就業・生活支援センター職員との就労先訪問」「実習先開拓について教員研修の実施」「卒業生の活躍リーフレットの作成と開拓への活用」を新たに追記することを共有した。委員の方からは、防災の観点からの取組みも計画に盛り込むことも重要であるご意見をいただき、今回の協議会の総括とした。

次回開催日 令和6年6月予定

作成者 大阪府立すながわ高等支援学校 首席 後藤 禎行（令和6年1月31日作成）